

広報

ところざわ

5月

平成28年
No.1130

目 主な内容

4面

広報ところざわが
リニューアル!

5面

さあ、出かけよう!
プレゼントクイズ
スタート

15面

発行/所沢市 ☎04-2998-1111 (代表)
〒359-8501 所沢市並木 1-1-1

編集/広報課 ☎04-2998-9024

☎04-2994-0706

市HP <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

特集

Hello, Tokorozawa

所沢市・ディケイター市 姉妹都市締結50周年

この人は? →

Photographs by Terry Stoa (写真: テリー・ストア)

人口(前月比) 343,321人(+4人) 男 170,824人(-17人) 女 172,497人(+21人) ▲世帯数 154,559世帯(+484世帯) 平成28年3月末現在

広報ところざわは、毎月1日に発行。戸別配布でお届けしています。配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695・☎2924-0630 まで。

Hello, Tokorozawa



市は、姉妹都市や外国人市民との積極的な交流・相互理解に向けた国際交流活動を推進しています。

今年、最初に姉妹都市締結をした米国・ディケーター市と 50 周年を迎えます。交流の歴史を振り返るとともに、海外とのつながりや、外国人市民とのつながりをご紹介します。

文化芸術振興課 ☎2998 - 9211

50 周年！

姉妹都市との交流から
地域の国際交流を考えよう

ディケーター市はシカゴの南約 300 km に位置し、大平原が広がる人口約 7 万 6 千人の都市です。

きっかけは米軍所沢基地兵站センターの司令官がディケーター出身だったことでした。当時の人口規模・主要産業が似ていて、人工の湖（狭山湖・ディケーター湖）があるなどの共通点から、姉妹都市締結の話が持ち上がりました。そして、50 年前の昭和 41 年（1966 年）5 月 6 日、ディケーター市で姉妹都市締結を調印しました。

文化や経済などさまざまな交流を続け、現在は両市の高校生が互いに訪問して一般家庭にホームステイする「学生交流」を実施しています。今年は受入家庭を募集します（11 面参照）。

Hello, Tokorozawa

50 年にわたって交流を続けてきた所沢市の皆様にごあいさつができ、とてもうれしいです。

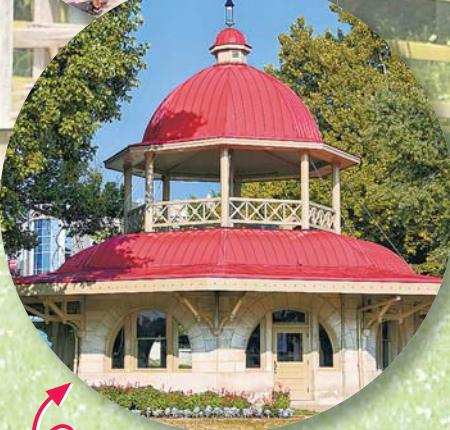
グローバル化が進む現代では、異文化交流・相互理解が幸せや成長に欠かせません。これからも交流を続けていきたいですね。

美しく、歴史のある所沢市で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

今秋、来日予定！



ディケーター市長
ジュリー・ムーア・ウルフさん



表紙に登場！

憩いのバス停
トランスファーハウス

Photographs by Terry Stoa (写真: テリー・ストア)



平成 27 年派遣
おとふし
乙藤誠三郎さん

2 週間のホームステイで最も変化したのはものの見方、考え方です。大きく物事を理解する感覚を身に付けました。それはきっと現地での体験が今までの僕には考えられないものばかりだったからだと思います。

いろいろな面で、滞在中に出会った全ての人から「これがアメリカ人か」と新鮮な驚きを覚えました。帰国後は逆の立場で、常に「日本人である」という自覚を持って行動しています。

今後は語学力を高め、もっと世界を知り、日本を紹介していきたいと思っています！

日米学生交流体験談

初めて訪れた異国の地が所沢でした。触れたことのない文化を知りたくて、学生交流事業に参加しました。

日本の航空発祥の地で航空の歴史が学べたことは得がたい経験でした。海外を旅することの素晴らしさに気づき、帰国後にパイロットを目指して進学。夢を叶え、現在は世界の空を旅しています。

空港で日本へ飛び立つジェット機を見ては、所沢のことを思い出します。もっと大きな飛行機を操縦できるようになって、将来の派遣学生を所沢に連れて行ってあげたいです！



平成 17 年受け入れ
ジェフ・ベックさん



所沢市は、デイクイター市以外にも2つの都市と姉妹都市を締結しています。

中国・常州市



上海の西約160kmに位置する人口約470万人の大都市。上海経済圏に属し、中国でも有数の経済発展都市。平成4年姉妹都市締結。



韓国・安養市



首都ソウルの南約25kmに位置する人口約60万人の街。都市と自然が調和した歴史ある町。首都近郊のベッドタウンとして発展した経緯が共通していることから交流が始まり、平成10年姉妹都市締結。



国際友好委員会

所沢市とデイクイター市の姉妹都市締結を受け、交流を支援する民間ボランティア組織として、昭和41年（1966年）12月に設立されました。姉妹都市との民間交流の担い手として、今年で50周年を迎えます。



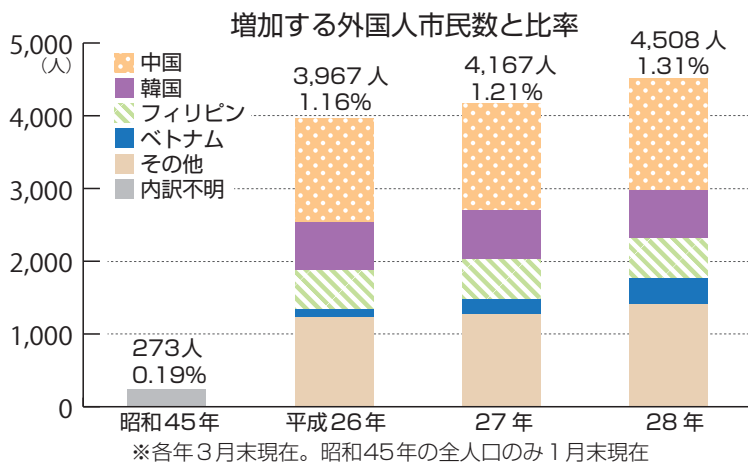
会員を募集中です。文化芸術振興課 ☎ 2998-9211 にお問い合わせください。



もっと身近に！国際交流

市は、3つの姉妹都市との活発な交流などを通じて、地域の国際化を推進してきました。姉妹都市交流を引き続き大切にし、市内の国際交流もさらに進める必要があります。

市内に住む外国人の数は年々増えています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け訪日外国人の増加が見込まれ、市内の外国人との交流や共生はますます重要になっています。



外国人市民との共生のためには、市民一人一人の意識が大切です。誰にとっても住みよい所沢になるよう、外国人市民との交流や、共に地域で暮らしていくことについて考えてみませんか。



国際交流フォーラム参加者の声

毎年3月に市役所で開催する国際交流フォーラムには、多くの外国人市民が訪れます。市民が協力して作り上げるこのイベントは、地域で暮らす外国人と日本人の交流のきっかけとなります。参加者の声を聞き、地域の国際交流について考えてみましょう。



外国人市民 磯橋アンジェラさん

話してつながる

日本人はとても親切でフレンドリー。日本語教室のつながりで頼れる人も増え、日常生活で困ることはほとんどありません。接客はみんな笑顔で、駅には必ずスロープが付いている。日本のサービスレベルはとても高いと思います。外国から見れば、住みやすいところです。

一つだけ困るのは、気持ちを表に出さないこと。もっと手をつないで、キスをして、「アイラブユー」と言ったほうがいいです。国際交流フォーラムでは、日本人もオープンに意見を言っていて、よかったと思います。積極的に声を掛けてください。また来年も皆さんとおしゃべりができたらうれしいです。

つながる心が世界を結ぶ



国際友好委員会副委員長 山田弘代さん

21年前の第1回から、国際交流フォーラムに携わってきました。最初は50人くらいでしたが、今や400人を超えるイベントになりました。他の市町村と比べても、所沢の国際交流は一番力が入っています。ここまでバリエーションが豊富な交流イベントはなかなかないでしょう。今回は当日ボランティアの方が15人も集まってくださり、とても助かりました。日本にいらした外国の方は、どうしても孤立しがち。フォーラムのような場所にどんどん出てきてほしい。皆さんもぜひ「つながる心」を持って、私たちと一緒に交流してみませんか。

初めてだってつながれる



当日ボランティア初参加 野澤万智さん

「災害時に外国の方が逃げられない」というテレビ番組を見て、自分の周りにいる人を知りたい、外国の方と触れ合ってみたと思うようになりました。そんなとき、当日ボランティアの募集記事を見て、今回初めて参加しました。困っているタンザニア人のお母さんを手助けでき、感謝されたのが一番うれしかったです。世界のお茶を試飲したり、一緒にフォークダンスを踊ったり、参加者として楽しむこともできました。来年も来ると言ってくれた方もいて、今回の交流がつながっていくのがうれしいです。今後も、国際交流に関わっていききたいと思っています。



▲輪になったの交流会には、着付け体験の着物を着て参加する方も。もっと話したくて時間が足りない！